情報セキュリティニュース　緊急特別号
～テレワーク環境を狙った標的型攻撃～

2020.04.10発行

標的型攻撃メールの現状

特定の組織や人から機密情報を盗むことや事業活動を妨害することを目的とした**標的型攻撃メール**は、IPAが毎年公表している「情報セキュリティ10大脅威」において、５年連続トップとして定着しています。

また、2019年10月頃からEmotet(エモテット)と呼ばれる新たなウイルスが猛威を振るう等、依然として電子メールを媒介としたウイルス感染の対策は企業にとって喫緊の課題となっています。

情報処理推進機構(IPA) が公表する「情報セキュリティ10大脅威」
2015～2020年における標的型攻撃の順位

テレワークに潜む標的型攻撃のリスク

2020年1月以降、新型コロナウイルスに便乗したサイバー攻撃に対する注意喚起が多数公表されています。厚生労働省や保健所等、実際に存在する公的機関の名を騙った事例や、マスクや給付金等の受給が受けられるといった悪質な虚偽情報を記した事例が、多数報告されています。特に在宅勤務環境のセキュリティ対策が十分に整備されていない実情から、在宅勤務者が格好の標的になっています。今後、在宅勤務の普及が見込まれる中、テレワーク環境下でのセキュリティ対策は、企業が早急に取り組むべき課題といえます。100％安全にすることが難しい在宅勤務環境においては、従業者一人一人のセキュリティ意識を高めることが、極めて重要です。各企業は、テレワークにおける標的型攻撃のリスクを理解し、緊急課題として、標的型攻撃メール対応訓練等の教育を早急にご検討ください。

「新型コロナウイルス」を題材とした攻撃メールの流行

2020年**1月以降**「**新型コロナウイルス**」に関する攻撃メールが確認され、攻撃者は、日本国内の利用者の興味・関心をひく内容とタイミングを計った上で、断続的に攻撃メールをばらまいています。

これらのメールの内容は一見して不審と判断できるほどの不自然な点は少なく、従来の標的型攻撃と比べても、より一層の注意が必要です。

※参照元：IPA(情報処理推進機構)

世界的に急増する在宅勤務社員に対する標的型攻撃

2020年**4月**、NASA(アメリカ航空宇宙局)は、「**在宅勤務中の職員を標的にしたマルウェアが急増している**」と報告し、関係者らに対し警告を求めました。在宅勤務者を標的としたサイバー攻撃の新たな波が発生しているとし、注意を呼び掛けています。

今後、日本国内でも、在宅勤務者を狙った標的型攻撃が発生することが予想され、多方面で注意喚起されています。

※参照元：livedoor NEWS

たった一人のウイルス感染が、自社だけでなく取引先や顧客を危険にさらす重大な問題に繋がる可能性があります。標的型攻撃メール対応訓練を実施することで、テレワーク実施中の従業者のセキュリティ意識を高めましょう。

➡　訓練の詳細は裏面へ

SCCの標的型攻撃メール対応訓練

ＳＣＣの実施する標的型攻撃メール対応訓練（メール訓練のみ実施の場合）の工程は以下のとおりです。
お客様には「実施スケジュール」と「名簿」をご準備いただくだけで、ご負担を少なく訓練をすることができます！　また、事前の打合せは基本的に全てメールで行うため、遠方のお客様も支障なく訓練が可能です！

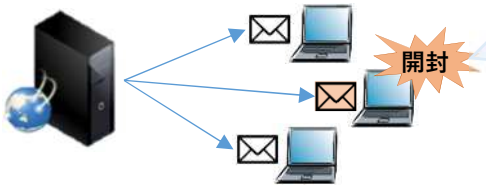
導通テスト ・・・ 訓練メールが正常に受信できるかの送受信テストをします。

準備1 **スケジュール決定** ・・・ 訓練日を決定します。

準備2 **訓練対象者名簿のご用意** ・・・ 訓練対象者のメールアドレスリストをご用意いただきます。

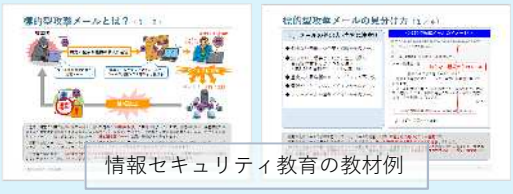
訓練メール内容の決定 ・・・ ＳＣＣが用意するテンプレートの中からお選びいただけます。
一から文面を作成することも可能です。
★在宅勤務者向けのテンプレートもご用意しております。

訓練メール送信 ・・・



送信から１週間のメール開封者を計測します

訓練メール開封率の報告、報告書の納品 ・・・ 訓練メール開封状況を報告書にまとめます。



情報セキュリティ教育の教材例

その他、標的型攻撃メール対応に特化した情報セキュリティ教育やアンケートの実施も可能です。
各社でご自由に編集していただけるｅラーニングコンテンツ(PPT)の販売もしております。

訓練の効果

✓ **実体験を通じた有効な注意喚起となる**
- 不用意に添付ファイルを開けてしまったので、自らの注意喚起に役立った。
- リスク感度を高めるためにも、定期的に実施してほしい。（同様意見多数）

✓ **不審メール受信時の対応手順の再確認のきっかけとなる**
- 対応要領（手順等）の再確認ができ、大変良かった。

✓ **ウイルス感染による被害(事業活動の停止、社会的信用の失墜)を想起させる**
- 添付を開いた瞬間「しまった」と「訓練で良かった」と同時に感じた。

訓練実施会社
株式会社SCC
教育システム部　セキュリティ教育グループ
〒164-8505 東京都中野区中野5-62-1
TEL/ 03-3319-6614　E-mail/ manabi@scc-kk.co.jp
https://www.scc-kk.co.jp/education/

お問い合わせ